

長期間凍結保存されている造血細胞の廃棄について

当院輸血部では、末梢血幹細胞、リンパ球などの造血細胞を凍結保存しています。このたび、保存開始から 10 年を超えた凍結細胞について、下記のとおり廃棄する方針といたしましたのでお知らせします。

1. 対象となる方

過去に当院で、次のいずれかの採取を受けられた患者さんまたはドナーの方が対象となる場合があります。

- ・自家末梢血幹細胞採取
- ・ドナーリンパ球採取

2. 廃棄の対象および実施時期

当院輸血部に凍結保存されている末梢血幹細胞、リンパ球などの造血細胞のうち、保存開始から 10 年を超えたものを廃棄の対象とします。廃棄は、2026 年 9 月以降、順次実施する予定です。

3. 廃棄方針決定の背景

当院輸血部では、20 年以上にわたり、院内の各診療科からの依頼に基づき、末梢血幹細胞採取、ドナーリンパ球採取を行い、採取した細胞をマイナス 80℃のディープフリーザーで凍結保存してきました。一方、長期間保存された凍結細胞については、臨床使用に必要な品質を将来にわたり保証することが困難です。また、採取後の治療経過などから、今後使用される可能性が極めて低いまま長期間保存されている細胞もあります。

このため当院では、保存開始から 10 年を超え、今後の臨床使用が予定されていない凍結細胞について、廃棄する方針を決定しました。本方針は、当院の輸血療法委員会で審議され、承認されています。また、関係する診療科とも協議のうえで実施します。

対象となる患者さんおよびご家族、ならびにドナーの方へのお知らせは、原則として本掲示をもって代えさせていただきます。本件についてご不明な点や確認を希望されることがありましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

4. お問い合わせ先

大分大学医学部附属病院 輸血部
電話：097-549-4411（代表）

お問い合わせの際は、「長期間保存された凍結細胞について」とお申し出ください。